



馬車道通信

編集・発行
平成 25 年 6 月 1 日発行
(公財)よこはまユース 横浜市青少年育成センター
横浜市西区住吉町4-42-1 関内ホール地下1階
TEL:045-664-6251 / FAX:045-664-6254
<http://www.yokohama-youth.jp>

相談・情報スポットから No. 5

助成金を活用しましょう!



子ども・若者や子育てに関わる活動の充実には、財源の確保が不可欠です。現在、助成金を募集している団体を掲載しました。ぜひ活用し、活動を充実させていきましょう。

※この他にも情報があります。詳しくは窓口のスタッフにお尋ね下さい。

助成制度名	助成対象	助成金額	募集期間
公募先			
博報賞 公益財団法人 博報児童教育振興会	児童・生徒に対する日常の教育現場で 尽力されている学校・団体等（教育委員 会などの推薦が必要）	5 部門で 20 件前後 （副賞 100 万円）	2013/4/1～6/28
子どもゆめ基金 独立行政法人 国立青少年教育振興機構	子どもを対象とする体験活動や読書活 動の振興に取り組む団体	市区町村規模：50 万円 全国規模：300 万円他	後期： 2013/5/1～6/28
助成金 公益財団法人 ヨネックススポーツ振興財団	青少年スポーツの振興に関する事業等 を行い継続して実施している団体	上限額 100 万円 （1 件あたり）	後期： ～2013/6/30
スポーツ事業部関連事業 助成金 公益財団法人ライフスポーツ財 団	市町村において子どもスポーツ活動、地域 スポーツ活動を推進するための組織団 体	助成対象事業費 （年度ごとに定める）	毎年 4/1～7/31
共同募金の助成（配分） 赤い羽根共同募金	児童・青少年福祉活動や福祉施設、障 がい児・者福祉施設等	助成対象事業を行うた めに必要と認められる 費用	通年



部屋活用お役立ち情報



■スタジオの空き状況がホーム
ページ上でご覧いただけます。毎
週 1 回更新します。空き状況は現
時点の状況であり、随時変動しま
すので、まず、電話(045-664-6251)
にてご確認下さい。

(<http://www.yokohama-youth.jp>)

■部屋の利用許可申請書を E-mail
でも提出できるようになりました。
ぜひご利用下さい。

E-mail:kusei@yokohama-youth.jp

※申請書 (Word) のダウンロード
はHPからどうぞ

利用したい日に部屋が空いていない …その時は!

■当センターの利用証は横浜市青
少年交流センター（ふりーふらっと
野毛山）でご利用できます。
研修室（大・小）、スタジオ、和室、
体育館等がご利用できます。
詳しくは受付でお問合わせ下さい。



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『コーロ・アンダンテ』（第1・2研修室、ミーティングルーム、和室利用）

コーラスの好きな人達が集まり練習を重ね、2年に1回コンサートを開催しています。

《イベント情報》

6月12日 みなとみらい小ホールにてコンサート開催。

《青少年へのメッセージ・・・》

若い人達にはもう少し心にゆとりもてるコーラス等に参加してもらいたと思います。

＜アンダンテさん 談＞



馬車道コラム Vol. 18

～Candy(キャンディ)～



馬車道を散歩していたら、若い女性から「いかがですか？マンゴー味ですよ」と飴を勧められた。梅雨の重苦しい天気を一掃するようなマンゴーの甘酸っぱい味が口の中に広がった。思わず、一袋買ってしまった。店の中で作りだされる飴の実演をしばし眺める。大きな飴の塊が若い職人さんたちの手でしごかれて細い棒状になっていく。最後は金属のヘラでカンカンと切られて出来上がり。出来上がった飴の中には「金太郎の顔」ではなく、「Love」の文字があった。職場に戻って、「家でも甘いかもしれないけど、この飴も甘いぜ！」と新婚ほやほやのデレデレ職員に買って来た飴を勧める。

「飴」と言えば、「Candy」というジャズのスタン

ダードナンバーがある。よくジャム・セッションで演奏されるが、ジャズマンはこの曲名を「チャンジ」と符牒で紹介することがある。思えば、私も男の「甘さ」がすっかり抜けてしまった「チャンジ」の年になってしまった。

お洒落な飴屋さんは、関内ホールの隣にある。



(ジャズおやじ)

(注) ジャズマンは仲間内では大抵言葉を逆さにして言うことが多い。いわゆる符牒である。「旅に行く」は「ピータに行く」とか「じーちゃん」は「ちゃんじー」といった感じである。

避難・誘導訓練を実施しました！

■5月17日（金）実施

■参加者：2団体8人、スタッフ20人

地震による地下2階パントリーの出火を想定し下記の訓練を行いました。

- 地下2階の屋内消火栓を使用した初期消火訓練
- 利用団体を含めた避難訓練
- 火災発生通報から避難人数確認までの情報連絡訓練

今回は中消防署山下町出張所の署員の方に来ていただき、指導を受けながら訓練を行いました。また、新しいスタッフを迎え新たな役割分担で実施しました。

回数を重ねるごとに問題点を解決しながら迅速な行動が取れるようにこれからも避難訓練を行っていきたいと思います。

訓練に参加していただいた「ベビーマッサージぽっかぽか」様「桃栗の会」様、ありがとうございました。



※育成センターは災害時等は帰宅困難者一時滞在施設として使用されます。

【お申込み/お問い合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター/ TEL: 045-664-6251 FAX: 045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp

